

TIS株式会社

第11期定時株主総会

2019年6月25日(火曜日)

第11期定時株主総会

目的事項(報告事項・決議事項)

報告事項

1. 第11期(2018年4月1日から
2019年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに
会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第11期(2018年4月1日から
2019年3月31日まで)計算書類報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
- 第2号議案 定款一部変更の件
- 第3号議案 取締役9名選任の件
- 第4号議案 監査役1名選任の件

質疑応答

議案の採決

第11期定時株主総会

議決権を有する株主数

株主数 **8,884名**

総株主の議決権数

議決権数 **846,246個**

監査役会の監査報告

1. 事業報告等の監査結果

事業報告およびその附属明細書	→ 適法
取締役の職務の執行	→ 適法
内部統制システムに関する内容等	→ 相当

2. 計算書類およびその附属明細書の監査結果

会計監査人の監査の方法および結果	→ 相当
------------------	------

3. 連結計算書類の監査結果

会計監査人の監査の方法および結果	→ 相当
------------------	------

報告事項

1. 第11期 事業報告

- 事業の経過およびその成果
- 対処すべき課題

2. 第11期 連結計算書類

3. 第11期 計算書類

事業の経過および成果

当社グループを取り巻く環境

我が国経済

- ✓ 企業収益や雇用情勢の改善等により、緩やかな回復基調



情報サービス産業

- ✓ 日銀短観におけるソフトウェア投資計画が前年度比増加



当期の事業環境は好調に推移

事業の経過および成果

業績： 2019年3月期（当連結会計年度）

2018年4月1日～2019年3月31日

（単位：百万円）

2019年3月期（第11期）		
売上高	420,769	+3.7%
営業利益	38,043	+16.2%
経常利益	38,603	+17.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,034	+26.3%

事業の経過および成果

業績： 2019年3月期（当連結会計年度）

2018年4月1日～2019年3月31日

（単位：百万円）

2019年3月期（第11期）		
売上高	420,769	+3.7%
営業利益	38,043	+16.2%
経常利益	38,603	+17.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,034	+26.3%

事業の経過および成果

業績： 2019年3月期（当連結会計年度）

2018年4月1日～2019年3月31日

（単位：百万円）

2019年3月期（第11期）		
売上高	420,769	+3.7%
営業利益	38,043	+16.2%
経常利益	38,603	+17.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,034	+26.3%

事業の経過および成果

業績： 2019年3月期（当連結会計年度）

2018年4月1日～2019年3月31日

（単位：百万円）

2019年3月期（第11期）		
売上高	420,769	+3.7%
営業利益	38,043	+16.2%
経常利益	38,603	+17.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,034	+26.3%

事業の経過および成果

業績： 2019年3月期（当連結会計年度）

売上高  前期比：増収

- IT投資動向が強まりを見せる分野において顧客ニーズを的確に捉えたことなどが牽引し、前期比増収。

利益面  前期比：増益

（営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益）

- 増収効果に加えて、売上総利益率の向上により売上総利益が増加し、構造転換に向けた対応強化を中心とする販管費の増加を吸収し、前期比増益。

事業の経過および成果

業績： 2019年3月期（当連結会計年度）

特別利益 19,051百万円

■ **投資有価証券売却益**

特別損失 18,876百万円

■ **データセンター移転関連費用**

■ **連結子会社の売却・整理に係る損失**

事業の経過および成果

「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に選定

資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、投資者にとって投資魅力の高い会社で構成される「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に選定。



JPX-NIKKEI 400

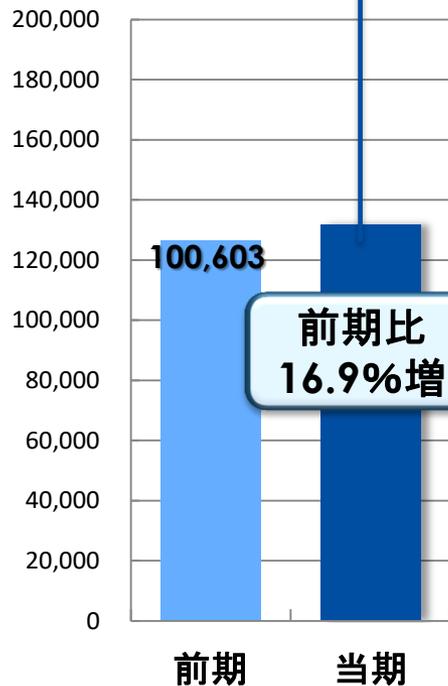
事業の経過および成果

セグメント別の状況：2019年3月期（当連結会計年度）

サービスIT

売上高

117,617百万円



営業利益

8,519百万円



- 決済関連ビジネスの拡大
- ERP更新需要の強まり

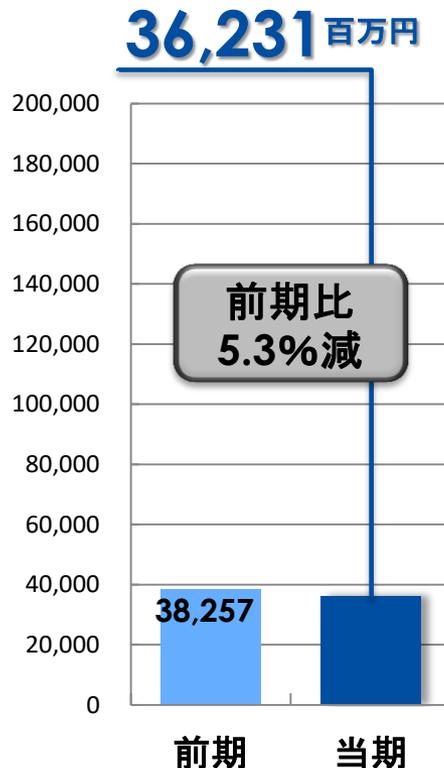
増収・増益

事業の経過および成果

セグメント別の状況：2019年3月期（当連結会計年度）

BPO

売上高



営業利益



- 売上高は概ね安定的に推移
- 一部の連結子会社の全株式をグループ外に譲渡した影響

売上は前期比小幅減

- 取引採算性の見直し

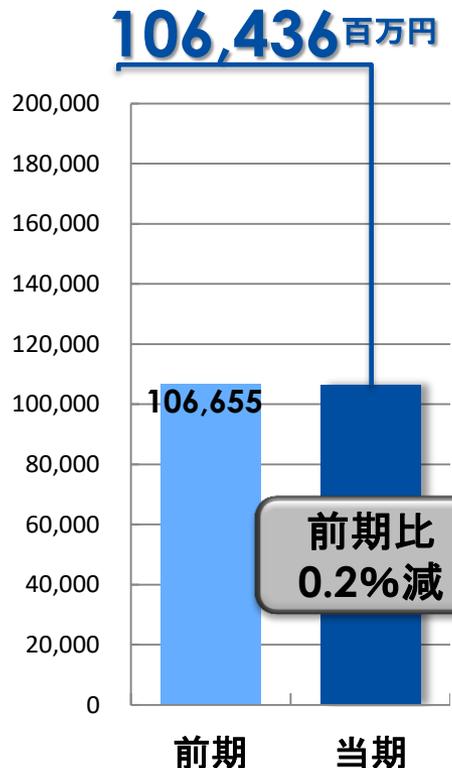
利益は前期比増加

事業の経過および成果

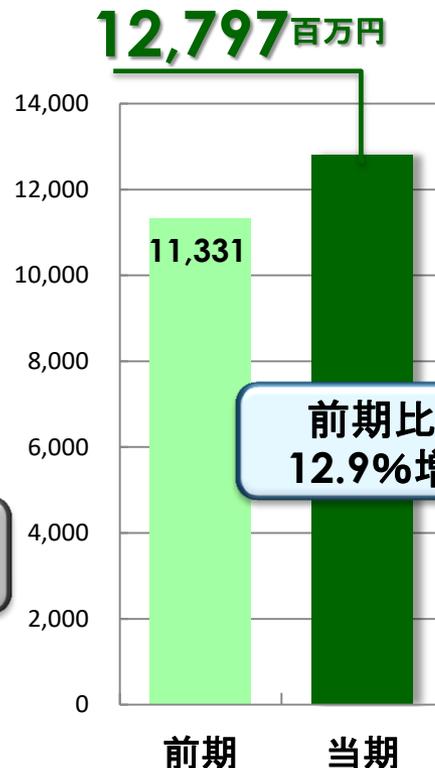
セグメント別の状況：2019年3月期（当連結会計年度）

金融IT

売上高



営業利益



- クレジットカード系を中心に根幹先顧客におけるIT投資拡大の動きが堅調
- 大型開発案件の反動減

売上は前期比微減

- 高付加価値ビジネスの推進
- 生産性改善

利益は前期比増加

事業の経過および成果

セグメント別の状況：2019年3月期（当連結会計年度）

産業IT

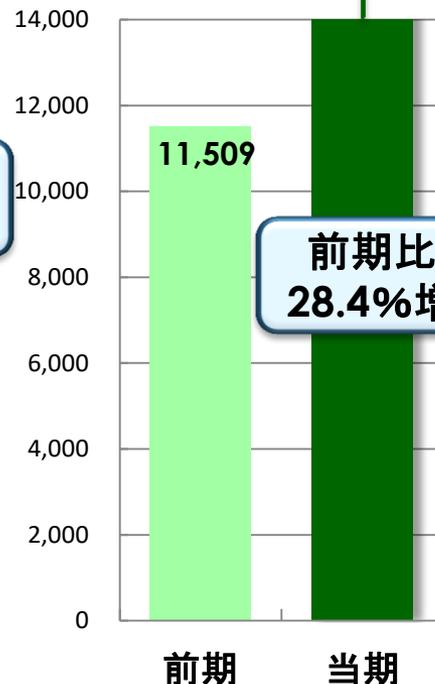
売上高

189,595百万円



営業利益

14,777百万円



- エネルギー系をはじめとして幅広い顧客のIT投資拡大

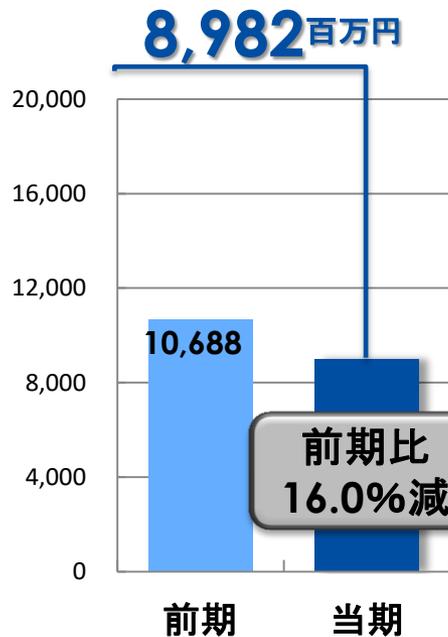
増収・増益

事業の経過および成果

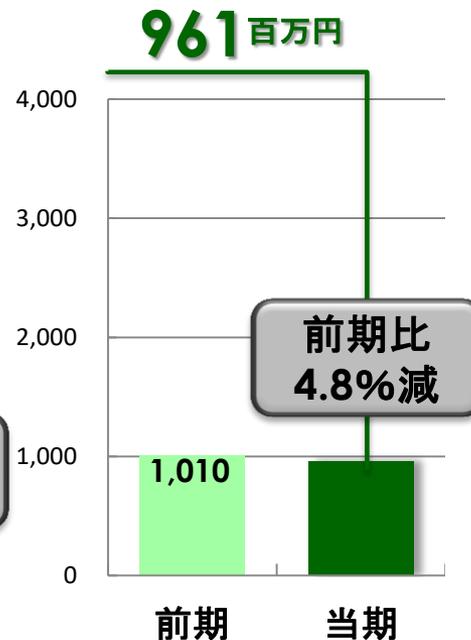
セグメント別の状況：2019年3月期（当連結会計年度）

その他

売上高



営業利益



ITサービスフォース株式会社を吸収合併したことに伴い、同社事業に相当する業績について計上するセグメントを、変更したことによる影響。

事業の経過および成果

新中期経営計画（2018年度～2020年度）

新中期経営計画の5つの基本方針

持続的な利益成長

社員の自己実現重視

コア事業への集中

先行投資型への転換

グローバル事業の拡大

スピード感のある構造転換と
企業価値向上の実現を目指す

事業の経過および成果

2019年3月期 グループ経営方針

中期経営計画 基本方針	2019年3月期 グループ経営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・持続的な利益成長 ・社員の自己実現重視 ・継続的なスピードある構造転換 	<ol style="list-style-type: none"> ①サービス型への構造転換に向けたスタートダッシュ ②新サービス創出のための積極的な先行投資 ③強みの生きる領域での付加価値・生産性の向上 ④ASEANトップクラスのIT企業連合体を目指した成長戦略の推進 ⑤働きがい向上と人材マネジメントの高度化

**グループ経営方針に基づき、
各種施策に精力的に取り組む**

事業の経過および成果

2019年3月期 グループ経営方針

① サービス型への構造転換に向けたスタートダッシュ



モバイルウォレットソリューション ウォレットイーボ



QR決済プラットフォームサービス



クラウド
&
セキュリティ

コンサルティング
&
マネージドサービス

ワンストップ型の付加価値提供

三菱UFJ銀行と共同で、
「トークンリクエスト代行サービス」を
モバイル・デジタルウォレット事業者に展開

三井住友カード社と提携し、
「銀聯QRコード決済」に対応した
決済サービスを提供

事業の経過および成果

2019年3月期 グループ経営方針

②新サービス創出のための積極的な先行投資

**最先端技術の獲得と
そのグローバル市場への投下の実現に向けて**

資本・
業務提携



企業間取引向けブロックチェーン関連
技術において世界トップクラスの実績・
ブランドを誇る米国スタートアップ企業

追加出資



自律移動型ロボット開発
のベンチャー企業

事業の経過および成果

2019年3月期 グループ経営方針

②新サービス創出のための積極的な先行投資

**最先端技術の獲得と
そのグローバル市場への投下の実現に向けて**

『AI特化コーポレートベンチャーキャピタル』新設

『TIS共創イノベーション・コンソーシアム』開始

「グループラボラトリー」機能を
コミュニティ型 ワークスペース『WeWork』に開設

事業の経過および成果

2019年3月期 グループ経営方針

③強みの生きる領域での付加価値・生産性の向上

次世代カードプロセッシングサービス「CreditCube+」のファーストユーザーとなる企業とプロジェクトを開始

電子決済サービス「Alipay」が鉄道改札機で直接利用できるサービスの実現に向けて「ゆいレール」で実証実験

統合CRMソリューション「F³」のクラウド化とともに、アンチ・マネー・ロンダリングシステムやローン自動審査サービス等のオプションサービスを開発・提供

事業の経過および成果

2019年3月期 グループ経営方針

④ ASEANトップクラスのIT企業連合体を 目指した成長戦略の推進

転換社債型
新株予約権付社債取得

PT Anabatic Technologies Tbk
インドネシア / 上場大手IT企業

協業スキームの
構築推進

R3 HoldCo LLC
米国 / トップクラスのブロックチェーン関連技術

上海訊聯数据服务有限公司 (CardInfoLink)
中国 / QRコード決済ソリューション

追加出資

MFEC Public Company Limited
タイ / エンタープライズ向けITソリューション

資本・業務提携契約

TinhVan Technologies JSC.
ベトナム / 大手ITサービスプロバイダー

事業の経過および成果

2019年3月期 グループ経営方針

⑤働きがい向上と人材マネジメントの高度化

「働き方改革」への積極的な取り組み

- ✓ 「働きがいの高い会社」を目指す活動方針として、
マニフェストを策定・公開
- ✓ 「65歳定年制度」の導入

- 「健康経営優良法人2019 ホワイト500」に
当社と子会社のインテックが認定
- 「テレワーク先駆者百選」に選定

事業の経過および成果

その他

グループフォーメーションの最適化

収益性の観点から事業ポートフォリオの見直しを推進

国内

連結子会社のACメディカル社および興伸社の全株式をグループ外へ譲渡

海外

連結子会社の天津堤愛斯海泰信息系统有限公司の全持分をグループ外への譲渡

事業の経過および成果

その他

グループフォーメーションの最適化

本社機能の高度化・効率化推進

当社およびインテックを中心としたグループ横断的なプロジェクトを立ち上げ、多面的な検討を推進

機能集約化のため、グループのシェアードサービスを担うITサービスフォース株式会社を当社に吸収合併

事業の経過および成果

その他

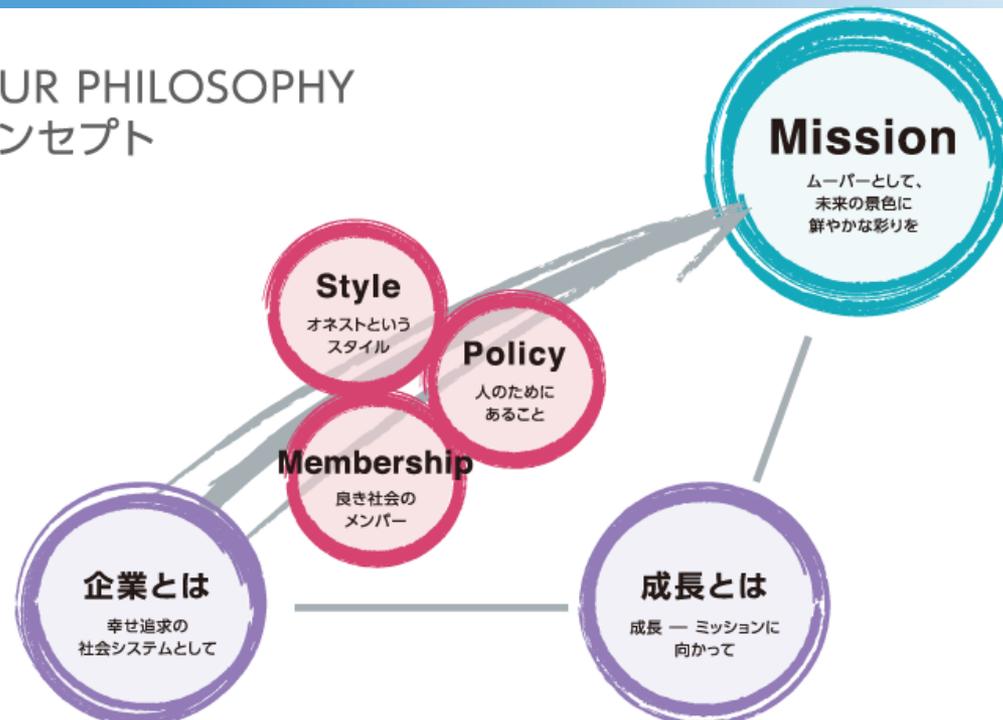
**株主利益および資本効率の向上を図るため、
自己株式の取得を実施**

- ✓ **取得期間** : 2018年5月～2018年7月
- ✓ **取得株式数** : 809,100株
- ✓ **取得価額の総額**: 4,209,858,472円

事業の経過および成果

TISインテックグループ基本理念 「OUR PHILOSOPHY」を策定・発表

OUR PHILOSOPHY
コンセプト



「デジタル技術を駆使したムーバーとして、
未来の景色に鮮やかな彩りをつける」存在を目指す。

設備投資の状況・資金調達の状況

設備投資の状況 資金調達の状況

「招集ご通知」
25頁に記載

対処すべき課題

当社グループの対処すべき課題

グループビジョン「Create Exciting Future」
が目指す理想の実現

更なる企業価値の向上

✓ スピード感を持って
構造転換を実現

✓ 4つの戦略ドメイン
を拡充

対処すべき課題

当社グループの対処すべき課題

構造転換の必要性を強く意識した二つの目標

持続的な利益成長

社員の自己実現重視

「継続的なスピードある構造転換」が必要

基本方針

コア事業への集中

先行投資型への転換

グローバル事業の拡大

対処すべき課題

コア事業への集中

**システムインテグレーションやITサービスでの
得意分野や重要・重点顧客ビジネスを
さらに強固なものとする**

- ✓ **グループ生産革新委員会の活動を通じた
各種施策による不採算案件の極小化**
- ✓ **エンハンスメント革新活動の推進**
- ✓ **人的リソースの増加を前提としない
ビジネスモデルへの構造転換を加速**
- ✓ **収益性の観点で事業ポートフォリオの見直し**

対処すべき課題

先行投資型への転換

**事業構造を転換し、
社会課題の視点から顧客に対して
先回りしたビジネスへ転換していく**

- ✓ **AI、IoT、ロボット等の先端技術の研究**
- ✓ **出資先のベンチャー企業との連携を深め、
事業創造を促進**
- ✓ **顧客同士や顧客と社会をつなぐことを切り口に、
お互いの成長を加速させる事業創造を推進**

対処すべき課題

グローバル事業の拡大

ASEANでトップクラスのIT連合体を目指す

- ✓ 当社グループの強みの決済、銀行、ERP領域を強化
- ✓ 欧米、中国等、IT先進国企業との提携等を積極的に展開し、ソリューションを充実

対処すべき課題

人材の高度化

**多様な人材が活躍できる仕組み・
風土構築を通じて働きがい向上に努める**

- ✓ **職場風土・環境の整備に取り組む施策をまとめた「TIS人事本部マニフェスト」を策定**
- ✓ **健康経営優良法人2019～ホワイト500～に認定**
- ✓ **働き方改革・健康経営を積極推進**



2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

対処すべき課題

経営管理の高度化

一層の経営ガバナンス体制の構築と整備の推進

- ✓ **グループ基本理念「OUR PHILOSOPHY」およびグループビジョンの策定と浸透活動の推進**
- ✓ **独立社外取締役の増員と多様性の確保**
- ✓ **「指名委員会」、「報酬委員会」の設置**
- ✓ **内部統制管理体系を整理・集約し、グループ内部統制委員会に一本化**
- ✓ **グループ経営管理の高度化を実現するため、グループ基幹システムの統合等による業務効率化**

対処すべき課題

新中期経営計画（2018年度～2020年度）

Transformation to 2020
グループ一体となり構造転換を実現し、
社会の課題解決をリードする企業へ

2021年3月期に目指す重要な経営指標

戦略ドメイン比率 50%

営業利益 430億円

営業利益率 10%

ROE 12%

財産および損益の状況

財産および損益の状況

企業集団の財産および損益の状況
当社の財産および損益の状況

「招集ご通知」
28頁から29頁に記載

その他の事項

その他の事項

企業集団の現況に関する事項(重要な子会社の状況他)
会社の株式に関する事項
会社の新株予約権等に関する事項
政策保有株式および政策保有に係る議決権行使の基本方針
会社役員に関する事項
会計監査人の状況
株式会社の支配に関する基本方針
剰余金の配当等の決定に関する方針

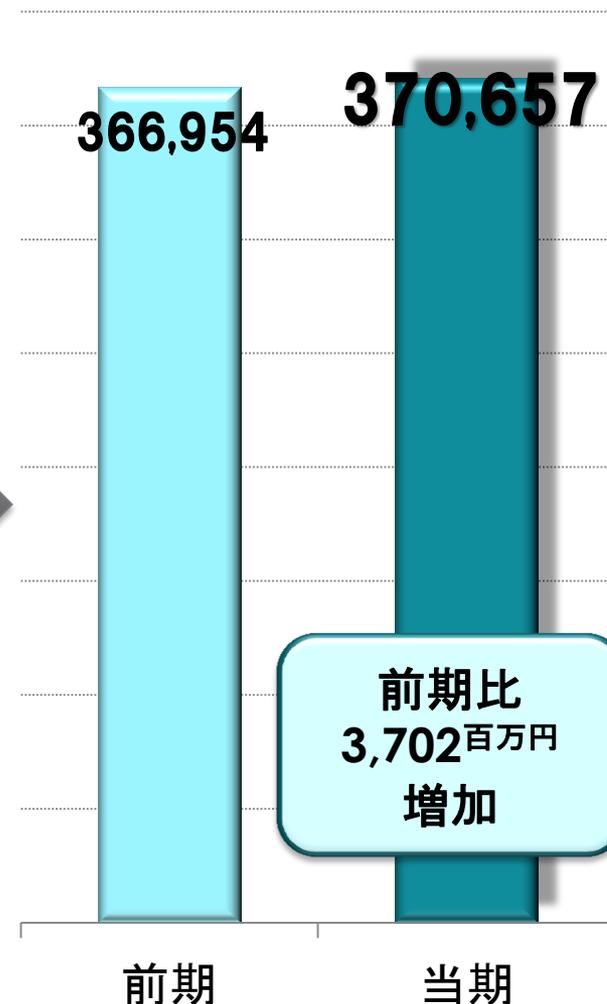
「招集ご通知」

30頁から41頁に記載

連結貸借対照表

(単位:百万円)

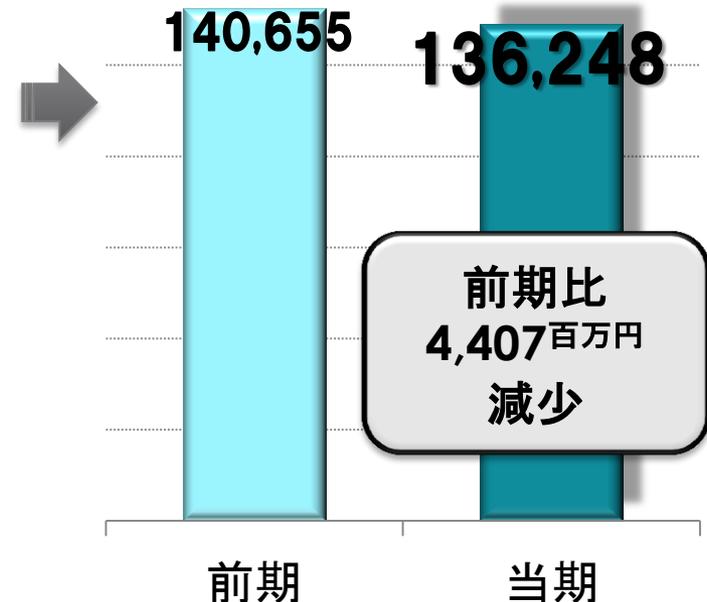
科目	2019年3月期
(資産の部)	
流動資産	176,231
固定資産	194,426
資産合計	370,657



連結貸借対照表

(単位:百万円)

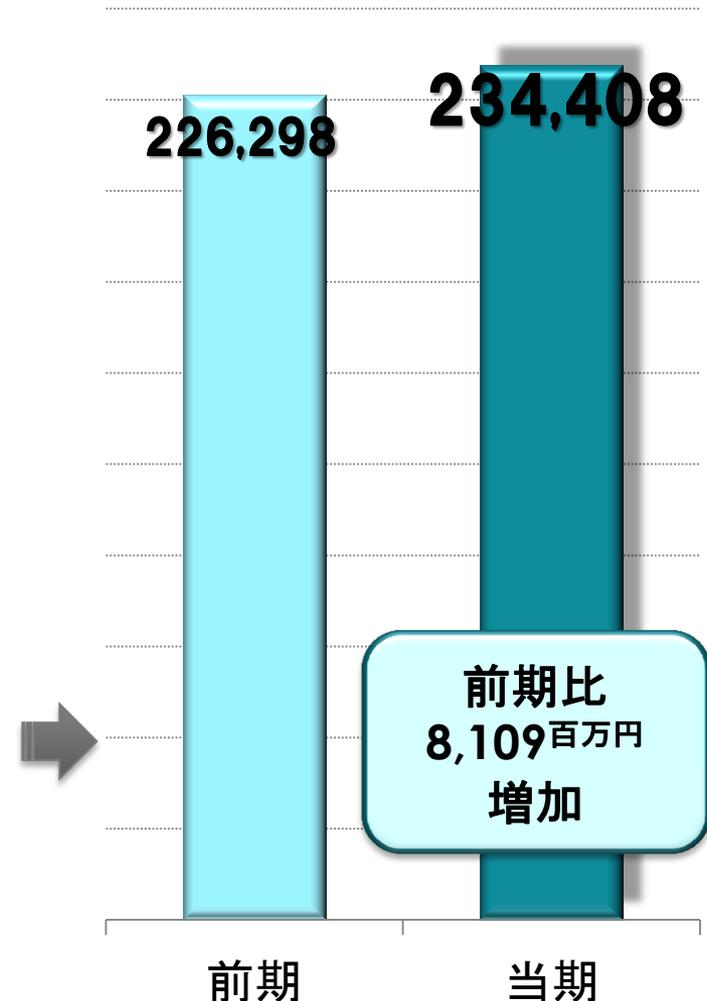
科目	2019年3月期
(負債の部)	
流動負債	91,126
固定負債	45,121
負債合計	136,248
(純資産の部)	
純資産合計	234,408
負債・純資産合計	370,657



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2019年3月期
(負債の部)	
流動負債	91,126
固定負債	45,121
負債合計	136,248
(純資産の部)	
純資産合計	234,408
負債・純資産合計	370,657



連結損益計算書

(単位：百万円)

2019年3月期（第11期）

高 上 売	420,769
営 業 利 益	38,043
経 常 利 益	38,603
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	26,034

連結損益計算書

(単位: 百万円)

2019年3月期 (第11期)	
売上高	420,769
営業利益	38,043
経常利益	38,603
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,034

連結損益計算書

(単位：百万円)

2019年3月期（第11期）	
売上高	420,769
営業利益	38,043
経常利益	38,603
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,034

連結損益計算書

(単位: 百万円)

2019年3月期 (第11期)	
売上高	420,769
営業利益	38,043
経常利益	38,603
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,034

連結株主資本等変動計算書

連結株主資本等変動計算書

「招集ご通知」
44頁に記載

* * *

連結注記表

当社ウェブサイトに掲載
(法令および定款第16条の規定に基づく掲載)

当社の計算書類

貸借対照表・損益計算書 株主資本等変動計算書

「招集ご通知」
45頁から47頁に記載

* * *

個別注記表

当社ウェブサイトに掲載
(法令および定款第16条の規定に基づく掲載)

現在までにご報告した事項

事業報告

連結計算書類

計算書類 など

連結計算書類に関する監査結果報告

第1号議案

剰余金処分の件（招集ご通知:3頁）

基本方針

中長期の経営視点から
事業発展につなげる適正な内部留保を確保しつつ、
連結業績を勘案し、安定した配当を継続

この方針に基づき

総還元性向（目安）

40%

（35%から引上げ）

配当性向（目安）

30%

（2021年3月期）

第1号議案

剰余金処分の件（招集ご通知:3頁）

期末配当(普通株式)

当初計画より1株につき**10円増配**し、

1株につき 50円

(中間配当20円と合わせ、年間配当は1株につき**70円**)

総額 4,244,033,800円

<効力発生日 2019年6月26日>

第2号議案

定款一部変更の件（招集ご通知:4頁）

今後の事業展開に備え

定款 第2条の目的事項に
「電子決済等代行業および
資金移動業に係る業務」を追加

第2号議案

定款一部変更の件（招集ご通知：4頁）

現行定款	変更案
<p>（目 的） 第2条 当社は、次の業務を営むこと ならびに次の業務を営む会社およびこ れに相当する業務を営む外国会社の株 式または持分を保有することにより当該 会社の事業活動を支配・管理することを 目的とする。</p> <p>(1) 〃 (記載省略)</p> <p>(9) <u>（新 設）</u></p> <p><u>(10)</u> 〃 (記載省略)</p> <p><u>(25)</u></p>	<p>（目 的） 第2条 当社は、次の業務を営むこと ならびに次の業務を営む会社およびこ れに相当する業務を営む外国会社の株 式または持分を保有することにより当該 会社の事業活動を支配・管理することを 目的とする。</p> <p>(1) 〃 (現行どおり)</p> <p>(9) <u>(10) 電子決済等代行業および</u> <u>資金移動業に係る業務</u></p> <p><u>(11)</u> 〃 (現行どおり)</p> <p><u>(26)</u></p>

第3号議案

取締役9名選任の件（招集ご通知:5～16頁）

**取締役全員(9名)
本定時株主総会終結の時をもって
任期満了**

**取締役9名選任
(再任9名)**

第3号議案

取締役9名選任の件（招集ご通知:5～16頁）



安達 雅彦
（あだち まさひこ）



岡本 安史
（おかもと やすし）

第3号議案

取締役9名選任の件（招集ご通知:5～16頁）



柳井 城作
（やない じょうさく）



北岡 隆之
（きたおか たかゆき）

第3号議案

取締役9名選任の件（招集ご通知:5～16頁）



新海 章
（しんかい あきら）



佐野 鉦一
（さの こういち）

第3号議案

取締役9名選任の件（招集ご通知:5～16頁）



土屋 文男
（つちや ふみお）



水越 尚子
（みずこし なおこ）

第3号議案

取締役9名選任の件（招集ご通知:5～16頁）



桑野 徹
（くわの とおる）

第3号議案

取締役9名選任の件（招集ご通知:5～16頁）



桑野 徹



安達 雅彦



岡本 安史



柳井 城作



北岡 隆之



新海 章



佐野 鉦一



土屋 文男



水越 尚子

第4号議案

監査役1名選任の件（招集ご通知:17～18頁）

監査役 安藤 啓 氏
本定時株主総会終結の時をもって
辞任により退任

監査役1名選任
（前任者の残任期間）

第4号議案

監査役1名選任の件（招集ご通知:16～17頁）



松岡 達文
（まつおか たつふみ）

質疑応答

- **ご発言・ご質問の際は、挙手願います。**
- **ご発言の際には、「出席票」の番号とお名前をお願いします。**
- **ご発言・ご質問は、簡潔に、一問ずつお願いします。**

議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役9名選任の件

第4号議案 監査役1名選任の件

議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役9名選任の件

第4号議案 監査役1名選任の件

議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役9名選任の件

第4号議案 監査役1名選任の件

議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役9名選任の件

第4号議案 監査役1名選任の件

TIS株式会社 第11期定時株主総会

閉 会



TIS

TIS INTEC Group

Go Beyond

本日はまことにありがとうございました

新任監査役のご紹介



松岡 達文
(まつおか たつふみ)



本日はまことにありがとうございました